

# 令和5年度 第1回愛媛県渋滞対策協議会

## 議事概要

1. 日 時：令和5年8月2日（水）15：00～16：10
2. 場 所：松山河川国道事務所 2F第1・第2会議室（WEB併用）
3. 議 題
  - （1）これまでの経緯
  - （2）交通データによる最新の渋滞状況
  - （3）主要渋滞箇所の再評価
  - （4）国道33号における通勤時間帯のTDM施策の実施方針
  - （5）国道33号における観光期の経路誘導対策の実施方針
  - （6）松山空港周辺における混雑対策の実施方針
  - （7）対策の実施状況及び今後の実施予定
4. 議事要旨
  - 主要渋滞箇所の多くは、松山外環状道路や大洲・八幡浜自動車道の整備など抜本的な対策が必要であり、早期の整備が望まれるが、箇所によっては、信号現示の運用を変えるだけでも一定の効果が期待できる場合もあるため、ハード・ソフトの両面から対策の検討を進めるよう求める意見があった。
  - 主要渋滞箇所の再評価について、旅行速度を算出する区間長や現道の状況（規制速度など）も考慮して評価することが必要という意見があった。
  - 渋滞対策による交差点の処理能力の向上を示す指標として、時間あたりに捌けた交通量を評価すべきという意見があった。
  - 主要渋滞箇所解除後のフォローアップを行った方が良いという意見があった。
  - 令和4年度対策完了箇所の効果検証について報告し、解除基準に満たなかったものの、対策後の観測期間が短期だったことから、今後もモニタリングを継続していくことを確認した。
  - 通勤時間帯のTDM施策の実施方針について、今後、TDM施策の参加者へ表彰を実施する方針を報告し、了承された。
  - また、昨今の働き方改革やSDGs、健康面等の多面的な効果に着目し、手段も時差出勤に限定しないよう実施した方が良いという意見があった。
  - 観光期の経路誘導対策の実施方針について、一般的には、一般道より高速道路の方が事故率は低いため、高速道路への誘導が望ましく、現在の取り組みは、暫定措置と捉えるべきであるという意見があった。
  - 松山空港周辺における混雑対策の実施方針について、予測される交通集中に対する対応を協議会として実施することを了承された。なお、渋滞状況は時間帯別に異なるため、時間帯別の信号運用も有効だという意見があった。